



**Outsourcing
for Business
Growth.**

**事業成長型BPOで、
企業の挑戦を加速する。**

dentsu

株式会社電通オペレーション・パートナーズ

dentsu

株式会社電通オペレーション・パートナーズ

電通オペレーション・パートナーズの使命は、
「BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）」を通して、
企業の「事業成長」を支援することです。

戦略的なBPOこそ、この予測困難な時代を乗り越えるために
不可欠な推進力だと、私たちは強く信じています。

そのために、顧客企業にご活用いただける
ユーザビリティの高い「仕組み」や「プラットフォーム」となり
個別業務の受託から、変革に直結する統合コンサルティングまで
フレキシブルに細やかに対応いたします。

WHY?

なぜ、いま事業成長に

「BPO」が不可欠なのか？

社会全体のデジタル化が加速している昨今、単一の企業だけで対応するにはあまりに進化の速度が速過ぎます。また今後も、コロナ禍のような圧倒的社会リスクを念頭におかなければならない企業経営にとって、内部体制の強化は事業収支において諸刃の剣です。BPOとは、特定の問題解決に対して、対象業務を外部化し、ビジネスコストを削減することです。特にこれからは、事業収益に直結するフロントオフィスのBPO導入が経営の浮沈に関わる大事なファクターだと私たちは考えます。なぜなら資源は有限であり、困難な時代においては、企業パワーを価値の源泉に集中させることこそ最も重要な戦略だからです。



CEO MESSAGE

事業成長を牽引するフロントオフィスにこそ、 BPOの発想が有効だ。

代表取締役社長 岩井隆宜

一般的な「BPO」は、総務や経理などの「バックオフィス業務」を“広範囲”で外部に委託することが主流です。しかし電通オペレーション・パートナーズのBPOは、「バックオフィス業務」だけでなく、事業部門などの「フロントオフィス業務」を”細かな業務単位”で請け負うことまで対象としています。

このような体制になったのは「フロントオフィス業務こそ、BPOが必要だ」という確信からでした。顧客への提案書やレポート、リサーチ作業といったフロントオフィス業務は、各社の独自性が表れる業務であるため、全てを内部で完結すべきという意識を持たれがちです。しかしそのような業務も、付随して発生する細々としたオペレーション業務と切り分け、適切にマニュアル化することで外部にオペレーション業務を任せられるはずです。

電通オペレーション・パートナーズでは、お客様と対話しながら、アウトソーシングすることで効率化できる業務を洗い出します。そして業務工程を紐解きながら、外部でも均一なクオリティを保持できるように業務を標準化し、オペレーショ

ンまで細やかに実装。ニーズに寄り添うために、小口の個別業務から部門単位の業務まで、どんな受託規模でもご対応いたします。

顧客企業にとっては、BPOを上手に活用することで、その人にしかできない「コア業務（=企業利益に直結する業務）」に集中することができま。だからこそ、利益を生み出すフロントオフィス業務において、戦略的なBPOの活用が「事業成長」に直結していくのです。

近年、広告・メディア業界においても、リモートワークやデジタル化が進んでいます。新たな課題も生まれやすいですが、適切にマニュアル化したり、外部の技術・リソースに頼ることでスムーズに変化に対応できることと思います。

変革の一步は、まず「この業務も、アウトソーシングしていいんだ」とマインドを切り替えることから始まります。私たちも、皆さまの新たな挑戦に伴走するために、いつでも使いやすい「仕組み」や「プラットフォーム」であり続けるよう、進化し続けてまいります。

共に、戦略的なBPOで事業成長を加速させていきましょう。

CAPABILITIES

私たちの得意領域

電通オペレーション・パートナーズは、
電通グループ唯一のBPO会社として知見を蓄積してきました。
広告・メディア業界に精通したノウハウを活用しながら、
企業の事業成長に貢献します。



デジタル広告の運用メソッドを
独自カスタマイズすることで
少額案件にも対応可能



急場のアウトソーシングではなく
業務全体を戦略的に設計することで
継続的な業務効率化を実現



積極的なDX推進と
人にしか対応できない領域※との
ハイブリッドソリューション

※沖縄、ハノイ・大連にオペレーションセンターを設置し、
業務に細やかに対応しています。

SOLUTIONS

ソリューション

デジタル運用型広告領域

デジタルメディア
コンサルティング

デジタルメディア
プランニング

デジタル運用型広告
入稿・運用・レポート

デジタル広告運用の
内製化支援

マルチオペレーション領域

業務効率化のための
コンサルティング

フロント・ミドル
オフィス支援

デスクリサーチ・
ソーシャルリスニング

バックオフィス支援

WORK-FLOW

導入フロー

業務の可視化からコンサルティング、オペレーション実装までトータル
マネジメント。PDCAを繰り返し、業務効率化を追求し続けます。



1

業務の可視化

担当者に属人化されがち
な業務の内容について、
正確な技術に基づくヒア
リングにより、業務を可
視化し、資料化してい
きます。



2

業務コンサルティング

業務の流れを可視化する
ことで、ムダな工程、重
複している工程を適正な
流れに修正したり、デジ
タルでの代替工程をご提
案します。



3

オペレーション実装

効率的に業務設計された
業務を、マニュアル化す
ることによって、均一な
クオリティ、かつ正確な
オペレーションを実施し
ます。



4

PDCA

業務効率化に終わりはい
りません。進化するDXや
技術を取り入れ、常に使
いやすいプラットフォーム
であるために、改善を
続けます。

USE CASES

事例

変化する企業の課題に合わせ、最適なBPOソリューション・
正確なオペレーションを提供しています。

CASE 1 運用型広告の自動化を導入し、ROAS（＝広告の費用対効果）を大幅に改善

【課題】

他代理店に運用を委託するも、一定以上のROASを超えることができず苦戦。予算も少額のため、さらなる効果改善に向けた施策の実施も困難な状況でした。

【解決策】

業務工程の中から、自動化できる部分を切り分けて運用することで作業の効率化を実現。浮いた時間を改善施策実施に充て、ROASを1.5倍向上することに成功しました。

CASE 2 担当者に属人化していた業務を可視化し、効率化のための課題を発見

【課題】

長期間に亘り同一ベンダーに業務を委託しており、業務スキルやノウハウが担当者に属人化している状況。業務プロセスの改善を検討するも、現状を正確に把握できていないため課題の発見に至りませんでした。

【解決策】

独自のヒアリングで現状を把握し、全工程を可視化。その後、可視化した全工程にアセスメント（＝客観的評価）を実施し、見えざる課題を抽出。適切な解決策を提示し、無事に業務効率改善プロジェクトがスタートしました。

CASE 3 協力スタッフ任せでコントロールできていなかった品質を向上

【課題】

協力スタッフにノンコア業務を任せきりにしてしまい、気がつけば、問題が起きても原因の把握が困難な状態に。また、スタッフの退職が発生する度にミスが発生する等、非効率な運営になっており品質の安定化が必要でした。

【解決策】

協力スタッフの遂行業務をそのまま受託し工程整理をしながら、「作業進捗管理ツール」や生産性把握のための「効率管理表」を導入して、クライアントが進捗を把握できる環境を構築。また、システムや組織全体の運用を見直し、業務を平準化させ、業務品質を安定化させました。

CONTACT

お問い合わせ

BPOに関することなら
お気軽にご相談ください。



<http://www.dentsu-op.co.jp/about.php#contact>

東京本社

〒105-7001 東京都港区東新橋1-8-1 (電通本社ビル内)

TEL:03-6217-1200 FAX:03-6217-1201

沖縄オペレーションセンター

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち1-3-31 那覇新都心メディアビル 東棟6F

TEL:098-993-3439 FAX:098-861-6577

dentsu

株式会社電通オペレーション・パートナーズ